



〈息子と2人で行った〉
**アメリカ西部アドベンチャー
 ドライブ旅行の記録(その1)**
**10-Day Adventure Driving Tour
 in the U.S.A. by Nory Koinuma**

(第1回) 計画立案から出発まで

今年の夏、8月1日から11日にかけてアメリカを旅行してきました。ただ、今回の旅行はほとんどの人に秘密にして計画を進めていました。特に生徒のみなさんには授業でもまったくふれませんでしたね。その理由は、計画している内容が少し特殊なものだったので、途中で頓挫する可能性があったからです。しかし、自分が過去に行った大旅行もそうであったように、結果的にはその旅行を実現しました。そこで、英語を学ぶことと夢を実現することの大切さを伝えるために、今回の旅行の一部始終をシリーズ（全7回を予定）でレポートすることになります。

その第1回である今回は、旅行を実現するまでの道のりについてです。内容的はあまり面白くないかもしれませんが、次号以降の旅行内容がどのようにして実現できたのかという過程を紹介することになります。

1. 旅行を計画したきっかけ

私は英語教師なので、海外旅行によく出かけているのではないかとされています。しかし、実際にはそれほど多くは行っていません。大学4年生の時にアメリカの大学に1年間留学していたことを除けば個人的に海外旅行をしたことはなく、前任校の職員旅行でハワイに2度、本校の生徒引率でシンガポールに2度行ったことがあるだけです。ですから、むしろ本校の先生方の中でも回数としては少ない方だと思いますし、生徒のみなさんの中にはすでに私よりも多く海外へ行っている人もいるでしょう。その私が今年の夏に一念発起して(?)アメリカへ行こうと思ったのは以下のような理由からでした。

- ・留学してから四半世紀(25年)以上が経ち、留学生活を送った街(ネブラスカ州オマハ市)を再度訪れてみたかった。
- ・家族で海外旅行をしたことなかったの、いつか家族を留学先へ連れて行きたかった。しかし、息子(小6)は来年以降は中学生になって部活等で学校生活が忙しくなり、今年を逃すとこの先いつになるかわからなかった。
- ・息子に英語を学ぼうとする動機付けを中学生になる前に与えてやりたかった。
- ・平日は忙しくて毎日帰宅が遅く、ほとんど寝顔しか見ていない息子に父親としての存在感を示したかった。

なお、この旅行計画には1つ問題がありました。それは大学受験を控えた高3の娘をどうするかでした。「仕方ない。娘にはあきらめてもらおう…」これが私の最終的な判断でした(出発1週間前の会話 父:「娘よ、ごめん」→娘:「ずるい〜!」)。

2. 最終的な旅行計画がまとまるまで

(1) 旅行の準備

旅行をするというのは、それが日帰りであろうと泊を伴うものでであろうと、とても大変なものです。特に家族旅行となると一人で出かける気ままな旅のようにはいきません。みなさんはこれまで家族と一緒に旅行をしたことがあると思いますが、その旅をご両親

がどれだけ苦勞して計画し実行したかということまでは思いが及んでいないのではないのでしょうか。例えば、出かける前だけでも、日程の確保、旅行先の決定、ツアーや交通機関の申し込み、お金の準備、着替え等の携行品の準備など、たくさんしなければならないことがあります。旅行中も、子供達の安全の確保、子供達が楽しめる場所の訪問など、家族旅行ならではの気配りが必要です。そして、帰宅後は旅行中にたまった衣類の洗濯等の後片付けも待っています。これが海外旅行となるとさらに大変です。パスポートの準備から始まって、旅行先の国が日本とどうちがうのかを調査しておかなければならないということなどがあります。

今回私が計画していた旅は、手軽なツアーで出かけるというものではなく、往復の航空券とレンタカーの予約だけをして、あとは行き当たりばったりのドライブをしようというものだったので、さらに入念な準備が必要でした。具体的には、航空券の手配、国際免許の取得、レンタカーの予約、訪問先の調査、地図やガイドブックの取得、旅行ルートの計画などでした。そのような大変な準備があったので、4月にこの計画を妻に話したところ、「ああ、そう」と軽くあしらわれてしまいました。後にその時の心境を妻に尋ねたところ、「どうせ、途中で『やっぱりやめた』と言うと思ったから」だそうでした（過去に何度もそういうことがあったからです…汗）。

なお、このような大胆な計画を実行しようと思ったのは、自分がかつて大学時代にオートバイで日本一周をしたこと、留学時も宿泊先が決まっていなまま出国したのになんとかあったこと、留学中は中古車を買って毎日車を運転していたこと、留学中にアメリカ国内を長距離バスで回る一人旅を3回行ったこと等の経験があったからでした。つまり、「まあ、なんとかなるだろう…」という「無謀な」(妻談) 自信があったのです。

(2) 計画の変更

私の当初の計画は、西海岸の玄関口であるロサンゼルスに入り、そこからレンタカーでいろいろな観光地を訪れながら東進し、留学先であったネブラスカ州オマハ市をゴールにするというものでした。ところが、航空券を購入するために相談に寄った旅行会社の若いお姉さんに、「私も以前アメリカに住んでいたことがありますが、真夏で40度を超えることが多いこの時期に、ほとんど砂漠に近いその地域を短期間で走破するのは大変危険です」と説諭されてしまい、かつオマハから日本に帰るためには複雑な国内便の乗り継ぎが必要なることがわかったので、オマハに行くことはあきらめました。

一方、アメリカの地図で西海岸地域をながめっていると、カリフォルニア州、ユタ州、アリゾナ州に有名な国立公園がたくさんあることがわかりました。しかも、その中にはいつかぜひ訪れたいと思っていたヨセミテや、西部劇映画でおなじみのモニュメント・バレーもあるではないですか。そこで、今回の旅の主な訪問先はそれらの国立公園ということにしました。そして、それらを効率よく回るために、日本からのアクセスのいいサンフランシスコから入り、そこから時計回りに観光地を巡り、最後は息子のためにロサンゼルスで遊んで帰国するというプランを立てました。

3. いよいよ出発

7月下旬、息子のパスポート取得を含めて旅行に必要なすべての手続きが済みました。あとはもう実際に出かけるだけです。実を言うと、直前になって今回の旅に対する後悔に近い不安が頭をよぎってきました。それはツアーで行くより事故や事件に遭う確率が高かったからです。妻には「大切な息子を事故でケガさせたり死なせたりしたら一生恨んでやるから！」と罵られ、心の底ではドキドキしながら出発日を迎えました。ところが、当の息子はと言えば、「楽しみかい？」と聞いても「別にそれほどでもない」などというつれない言葉しか返ってきません（父親とちがって、元々感情をそれほど表に出さないタイプなのです）。そんなこんなで出かける10日間のアメリカ西部アドベンチャー・ドライブ旅行（珍道中?）。いったいどんなエピソードが待っているのでしょうか…。

<次回予告> ドキドキの初ドライブからヨセミテ国立公園までの2日間を紹介します。